

2023年9月29日

滋賀県が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について



京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、このたび、滋賀県が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（滋賀県第2回サステナビリティ・リンク・ボンド公募公債）、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標の達成条件に応じて財務的・構造的に変化する可能性のある債券のことを指します。発行体があらかじめ定めた重要な評価指標とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPT）によって評価され、発行体にSPT達成に向けた動機付けを与える債券です。

本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義する「サステナビリティ・リンク・ボンド原則（2020年版）」に適合する旨、株式会社日本格付研究所（JCR）からセカンドオピニオンを取得しております。

本債券の発行条件と連動するSPTとしては「滋賀県庁にて、2030年度に2014年度比で温室効果ガス排出量50%削減」を設定しています。投資を通じて、滋賀県のSPT達成に向けた取り組みを支援することで、温室効果ガス削減に向けた取り組みが推進され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するものです。

当金庫は、社会的課題や環境問題の解決に繋がる事業、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし持続可能な社会の形成に寄与すべく、今後も社会的使命・役割を果たして参ります。

記

<本債券の概要>

銘 柄	滋賀県第2回サステナビリティ・リンク・ボンド公募公債
年 限	10年
発 行 額	50億円
発 行 日	2023年9月29日

以上